

# 活用させていただきました ふるさと珠洲市 サポーターの皆様へ

平成20年度からスタートした『ふるさと納税制度』。珠洲市では、『美しい里山里海の自然環境の保全』と『子どもからお年寄りまでが元気で暮らせる住みよいまちづくり』の実現を目指し、皆様からお寄せいただきましたご寄附は、平成22年度計で46件 4,698,000円、平成20年度から合わせますと138件、14,052,000円に上り、多くの事業に活用させていただきました。今回は、平成22年度にご寄附を活用させていただきました事業の一部をご報告いたします。



年末年始、祝日を除く月曜日から金曜日に大人ひとり1乗車100円で運行しております。珠洲市に帰省された際には是非、ご利用してみてください。

また女性特有のがんで、20〜30代に急増し、国内で年間8千500人が発症している子宮頸がんの発症予防のため、最適とされる中学1年生から高校1年生までの女子に対し、予防ワクチンを接種していただけのような助成しており、その費用の一部に『ふるさと納税』を活用させていただきました。

平成22年度のワクチン接種状況は、ヒブワクチン17%、小児用肺炎球菌ワクチン17%、子宮頸がんワクチン40%となっており、接種率の低さは子宮頸がんワクチンの不足や接種後の事故等報告があったことが原因です。今後、国の動向に迅速に対応し、子どもたちや女性が健康で安全に生活できるよう努めていきたいと考えています。



## 予防接種事業 に活用しました

小児医療の現場で、病気が重症化し、後遺症が残ったりする重症感染症があります。『細菌性髄膜炎』や『肺炎』などの重症な感染症を予防し、疾病の重症化を防止する為、生後2か月から5歳未満までの乳幼児に対し、ヒブワクチン接種や小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用を助成しており、その一部に『ふるさと納税』を活用させていただきました。

## まちなかバス 『あちろん号』運行に 活用しました

民間 間バス会社に運行委託してきた「うぐいす号市街地循環バス」の廃止に伴い、市では平成22年4月1日より、『まちなかバスすずらん』を市街地の循環バスとして運行しています。その費用の一部に『ふるさと納税』を活用させていただきました。すずらん号の運行によって、まちなかへのアクセスを向上

させることにより、中心市街地の活性化を図っております。これまで午前中に3便のみの運行でしたが、利便性の向上を図り、午前中4便、午後2便の1日6便を運行しております。

また、車両については、主な利用者である高齢者や子どもたちを考慮した小型低床バスを利用しております。そのほか市民に愛されるように、車体には「鈴（すず）」をデザイン化したキャラクターがラッピングされています。まちなかバスの運行は、

平成22年度は、市内の飯田高校生7名、隣接する能登町の能登高校生24名、能都北辰高校生18名に対して助成いたしました。

## 中学生の パソコン購入費に 活用しました

中 学校のカリキュラムにおいてもコンピュータ授業は将来に向けて必要不可欠なものとなっております。しかしながら市内の中学校においては、教育用コンピュータ1台1台に対し、生徒が2〜3人の共有で授業を受けており、生徒が授業1時間当たり、コンピュータを利用する時間が不十分な状態にありました。

その解消に向けて平成22年度に、中学生1人で1台のパソコンを利用できる環境を整えるため、教育用パソコンを購入する経費の一部に『ふるさと納税』を活用させていただきました。



今回、生徒がひとり1台利用できるようにサーバー機を4台、教員用パソコン4台、生徒用パソコン95台購入いたしました。各学校の購入状況は次のとおりです。

【宝立中学校】	サーバー機	1台
	教員用パソコン	1台
	生徒用パソコン	20台
【緑丘中学校】	サーバー機	1台
	教員用パソコン	1台
	生徒用パソコン	40台
【三崎中学校】	サーバー機	1台
	教員用パソコン	1台
	生徒用パソコン	25台
【大谷中学校】	サーバー機	1台
	教員用パソコン	1台
	生徒用パソコン	10台

## 住宅用太陽光発電 システムの設置費用の 助成に活用しました

環 境にやさしいまちづくりの一環として、クリーンエネルギーの普及啓発と一般家庭におけるCO<sub>2</sub>の削減を目的に、住宅用太陽光発電システムを設置する市民のみならず、設置費用の一部を助



成しており、その一部に『ふるさと納税』を活用させていただきました。

市内に居住する住宅（併用住宅を含む）に太陽光発電システムを設置する場合、システムの最大出力1キロワットあたり7万円（上限30万円）を助成しています。平成22年度の実績は8件の設置でした。この助成制度をはじめ、現在、珠洲市では新たに策定した「珠洲市地球温暖化対策新実行計画」に基づき、廃食用油の回収によるバイオディーゼル燃料化や市独自のエコポイント制度などにも取り組んでいます。今後とも、こうした取り組みを通して美しい里山里海の自然環境の保全に努めるとともに、「自然と共生する珠洲市」の実現に向けて取り組んでいきます。

## 高校生の通学費補助 に活用しました



の と鉄道の撤退によって、高校生の通学の足は、民間会社の路線バスへと転換されました。それに伴う保護者の経費負担を軽減し、これからの珠洲市の教育の更なる振興と子育て環境の充実を図るため、平成22年度より、高等学校へ通学する生徒の通学に要する経費を助成するために『ふるさと納税』を活用させていただきました。

通学費負担者及び生徒が珠洲市内に居住していることなど、一定の条件をみたしている方で路線バスの定期購入金額の1ヵ月1万円を超える額を市が助成しております。



今後も珠洲市サポーターの皆様『ふるさと』を思うお心にお応えすべく、努力してまいります。引き続き『ふるさと納税』にご協力賜りますようお願い申し上げます。本当にありがとうございます。

珠洲市長 泉谷 満寿祐